

学年	教科等	単元等	活用アプリ
小5	社会	日本の気候と地形	プレゼンテーションソフト

## 授業内容

桜の開花日と梅雨入りの時期を調べ、日本の気候と地形について学習課題を立てる

## 準備：

- ・ワークシート用ファイルを準備する。
- ・カード内右上「気象庁」のリンクURLが今年の開花日や梅雨入り平均日となっているかを確認し、必要があれば更新する。（※カードのリンクは、気象庁2025年のデータ）
- ・ワークシート用ファイルをグループの数だけコピーして共同編集できる場所に保存する、または課題として子供たちにコピーを配付する。


## 授業の流れ：

1. 学校にある桜の木に注目する。「スライド①」を開き、問題の選択肢から1つ選び、手を挙げる。
2. 「スライド②」と「スライド③」を開く。各スライドの「気象庁」のリンクを開き、個人またはグループで「私たちの住んでいる地域に一番近いところ」と「そこから遠い地域」の2つの地域のデータを調べ入力する。
3. 地域により開花日や梅雨入り日に違いがあるのは何故かをグループで話し合って予想する。
4. 教科書や日本の地図などを参考に「各地のちがひ」とその「理由」や「根きよ」を考え、スライド④を作成して書く。
5. 考えたことを伝え合い、次時の学習課題を立てる。

サポート  
おすすめ  
ポイント

- ・身近な学校の桜に注目した上で、桜の開花日は地域によって様々であることを確認します。
- ・桜の開花日と梅雨入りの時期の情報と、教科書や地図などの資料から日本各地の気候と地形に着目します。
- ・集めた情報と考えたことをもとに学習課題を立て、学習意欲を高めます。

## スライド①

 わたしたちの学校にある桜の木に注目してみよう

小学校の桜は、今年の卒業式や入学式の日にさいっていましたか？

- ① 卒業式にはさいていた
- ② 入学式にはさいていた
- ③ さいていなかった



## スライド②：桜の開花日を調べる



## スライド③：梅雨入りを調べる



イラスト出典：いらすとや <https://www.irasutoya.com/>